

## 第3章 将来幹線道路網の設定



## 第3章 将来幹線道路網の設定

### 1. 将来幹線道路網設定の基本的な考え方

これまでに整理した本市の都市交通の問題や上位・関連計画における位置づけなどから、本市における幹線道路網の基本方針を以下のように設定します。

将来幹線道路網は、道路の段階構成\*を考慮して設定します。なお、生活支援道路（生活道路）については、道路として求められる機能が異なることから新規将来幹線道路網には位置づけません。

※道路を、主要幹線道路・幹線道路・補助幹線道路・区画道路等に区分することで、道路網を構成する各道路の機能分担を明確にし、段階的に連絡することでその機能を発揮するとともに、土地利用計画との整合を図ろうとするもの。

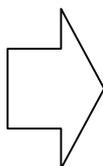
表－道路の段階構成と機能

種別分類		機能	機能	
			トラフィック機能	アクセス機能
幹線道路	主要幹線道路	都市の拠点間を連絡し、都市に出入する交通など、広域的な交通を処理する道路で、特に高い走行機能と交通処理機能を有する道路。	大	小
	幹線道路	都市内の各地域と隣接市町間の交通を処理する道路で、都市の骨格を形成する道路。		
	補助幹線道路	主要幹線道路、幹線道路、地域幹線道路で囲まれた区域内においてこれらの道路を補完し、区域内に発生集中する交通を効率的に集散させるための補助的な幹線道路。		
生活道路（区画道路）		街区内の交通を集散させるとともに、宅地への出入交通を処理する道路。また、街区の外郭を形成する、生活に密着した道路。		
特殊道路		自動車交通以外の特殊な交通の用に供する道路で、歩行者、自転車又は自転車及び歩行者の交通のために配置する道路。	小	大

トラフィック機能：自動車や自転車、人などを処理する機能  
アクセス機能：沿道土地や建物へ出入りする機能

表－幹線道路網の基本方針

基本方針(H14)	基本方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>①東西方向交通機能および流入機能を強化する道路網の整備</li> <li>②東濃研究学園都市構想を支援する道路網の整備</li> <li>③中心市街地の活性化および周辺地区との連絡強化のための道路整備</li> <li>④周辺部集落の生活支援と災害時の避難路の確保</li> <li>⑤歩行者・自転車の走行空間の快適性、安全性の確保</li> <li>⑥国際化、余暇化等にも配慮した道路整備・案内の充実</li> <li>⑦自然生態系の保全、環境と調和した道路網の整備</li> </ul>	<p><b>【交通機能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①都市間の連絡性を強化する道路の整備</li> <li>②市の中心部と市内各地域の連絡性をより一層強化する道路の整備</li> <li>③地域のニーズに沿った生活道路の整備</li> </ul> <p><b>【都市構造上の機能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>④市の中心部と市内に点在する集落地との連絡性を強化する道路の整備</li> <li>⑤瑞浪市都市計画マスタープランにおいて位置づけられている8種類の拠点相互を接続する道路の整備</li> </ul> <p><b>【空間・環境保全機能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑥観光機能を強化した道路や地域資源を活用した道路の整備</li> <li>⑦防災機能に着目した道路の整備</li> <li>⑧災害時に迂回路として機能する道路の整備</li> </ul>



## 2. 将来幹線道路網の設定

本市における将来幹線道路網として以下の路線を位置づけます。

### 1) 主要幹線道路

広域的な交通処理機能を確保するための道路を主要幹線道路として位置づけます。

番号	路線
主1	中央自動車道
主2	国道19号
	瑞浪恵那道路
主3	(仮称)東濃西部都市間連絡道路

### 2) 幹線道路

本市の骨格を形成するとともに、近隣市との連絡、都市内交通を処理する機能を担う道路を幹線道路として位置づけます。

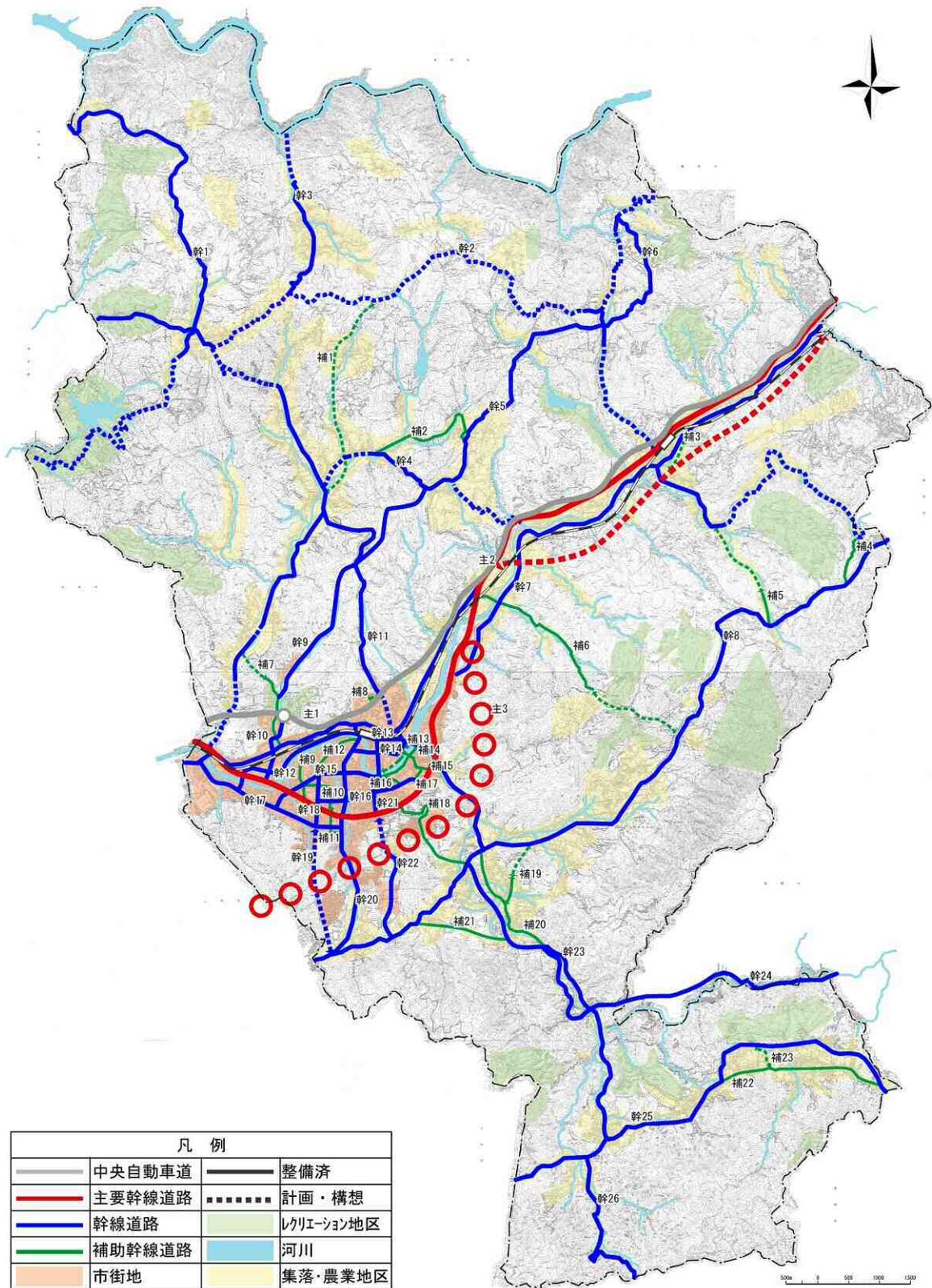
番号	名称	番号	名称
幹1	(一) 飛騨木曾川公園線	幹14	(都) 竜門線1
幹2	(主) 恵那御嵩線	幹15	(都) 小田益見線
幹3	(一) 大西瑞浪線	幹16	(都) 中原益見線
幹4	(一) 日吉釜戸線	幹17	(都) 和合山田線
幹5	市道半原・大湫線	幹18	(都) 竜門線2
幹6	市道大湫・神田線	幹19	(仮称) 瑞浪都市連絡線
幹7	(一) 武並土岐多治見線	幹20	(一) 上山田寺河戸線
幹8	(主) 多治見恵那線	幹21	(都) 公園線
幹9	市道戸狩・半原線	幹22	(仮称) 公園線南部延伸
幹10	(都) 狭間線	幹23	(主) 瑞浪大野瀬線
幹11	市道天徳・本郷線	幹24	(主) 瑞浪上矢作線
幹12	(都) 小田本町線	幹25	国道363号
幹13	(都) 本町線	幹26	国道419号

### 3) 補助幹線道路

主要幹線道路と幹線道路を補完する道路を補助幹線道路として位置づけます。

番号	名称	番号	名称
補1	市道南垣外・北野線	補14	市道益見・明德線
補2	市道半原・宿洞線	補15	市道松坂・益見線
補3	(仮称)釜戸コミュニティ線	補16	市道下益見1号線
補4	市道論栢1号線	補17	市道下益見15号線
補5	市道神徳1号線	補18	市道益見・羽広線
補6	市道鶴城・大草線	補19	市道産郷・中学校線
補7	市道戸狩・月吉線		市道水洗・中学校線
補8	市道瑞陵中学校東線		市道水洗・斧池線
補9	(都)松ヶ瀬正宗寺線	補20	市道下小里・川折線
補10	(都)市場中久手線	補21	市道釜糠・城山線
補11	(都)中久手広田線	補22	市道水上・猿爪線
補12	市道元町・北小田線	補23	市道西ヶ洞・沢ノ尻線
補13	市道文化センター前線		

図一 将来幹線道路網



### 3. 将来幹線道路網の検証

設定した将来幹線道路網の妥当性を検証するため、交通量推計を行います。

#### 1) ベースデータ

交通量推計を行うにあたり、ベースデータとして平成17年道路交通センサスのOD調査結果をベースとして県が実施した交通量推計データを用います。

#### 2) 将来幹線道路網における交通量推計結果

将来交通量推計では、国が行った推計に基づき岐阜県が県の計画道路を追加したネットワークで推計を行ったデータをベースに、本市の将来幹線道路網を追加し推計を行っています。

平成42年における幹線道路網での交通量推計結果では、市内の混雑度は概ね1.0未満となっており、円滑な交通処理が可能となっています。しかし、国道19号の中心市街地周辺や瑞浪恵那道路と並行する区間等一部の路線において若干の混雑が見られることから、幹線道路としての機能を果たし、より円滑な交通処理を行うよう対策が必要と考えられます。

図-H42 将来交通量の推計結果（拡大図）

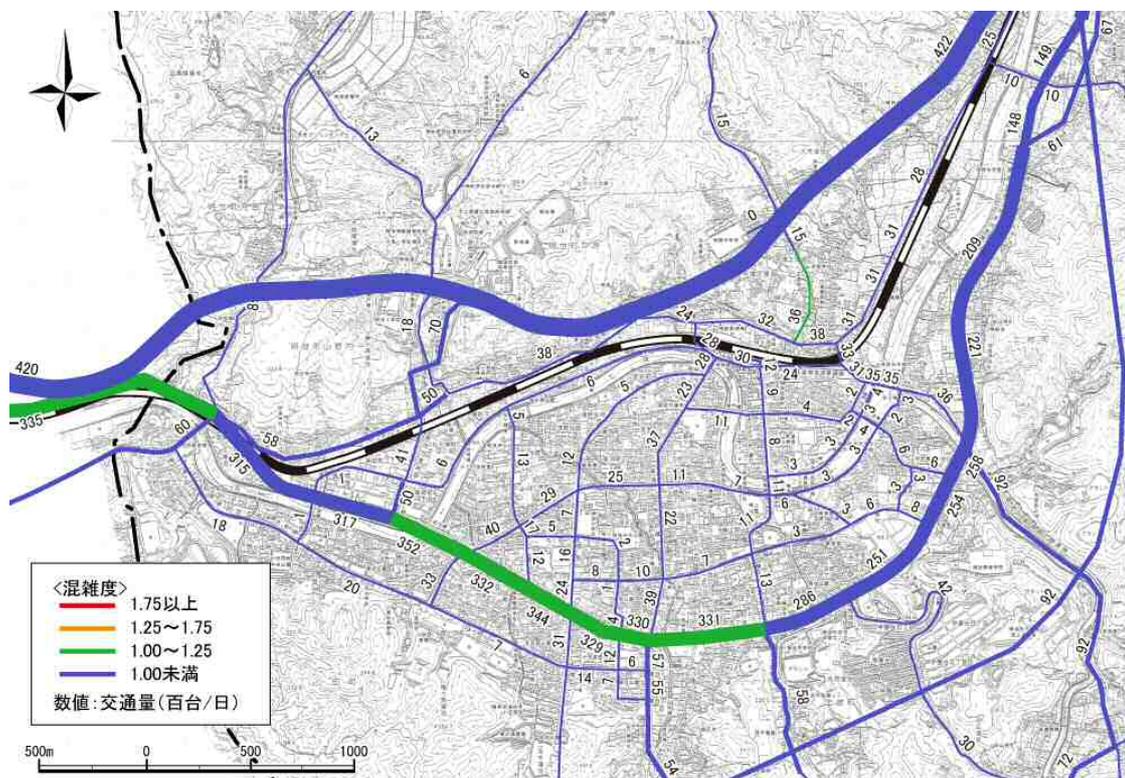


図-H42 将来交通量の推計結果

